



2023年8月 セキュリティ対応状況と検知状況

2023年9月
東日本電信電話株式会社

セキュリティ対応状況

2023年7月のフィッシング報告件数は117,024件となり、特定の海外クラウドサービスからのフィッシングメール配信が減少したことから、6月と比較すると32,690件減少しております。一方、金融系ブランドをかたる報告は6月と比較すると31.6%と増加しています。そのため、セキュリティ向上のため金融系サイトなどにおいて多要素認証（MFA：Multi-Factor Authentication）を設定されている方もおられるかと思えます。しかし多要素認証を突破するための手法として、AiTM ※1と呼ばれるフィッシング攻撃や多要素認証疲労攻撃 ※2といった攻撃手法が確認されております。そのため、よくアクセスする公式サイトは予めブックマークするなど、そもそもフィッシングサイトへアクセスしないようにすることに加え、身に覚えがないタイミングで認証コード通知などが届いた際は承認しないようご注意ください。

※1 フィッシングサイトがユーザと正規サイトのやり取りを中継し、認証済みのセッション情報を盗む手法

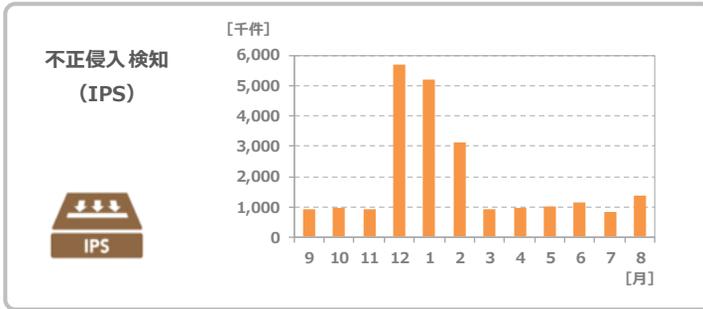
※2 不正入手したIDとパスワードを使って何度もログインし、正規ユーザーに認証要求を送り続け、正規ユーザーが誤ってログインを承認してしまうミスを誘う手法

■参考 フィッシング対策協議会 <https://www.antiphishing.jp/report/monthly/202307.html>

セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2022年9月～2023年8月

不正侵入検知

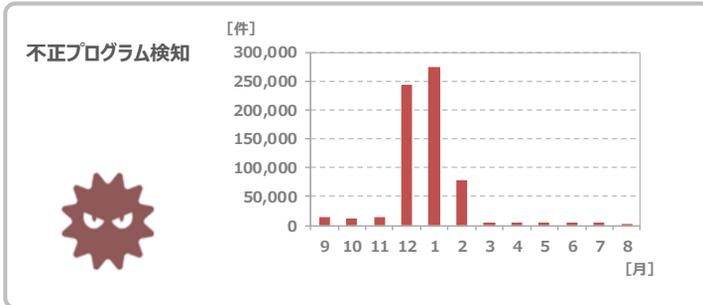


直近12カ月平均：1,914,912件

2023年8月：1,354,611件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

不正プログラム検知

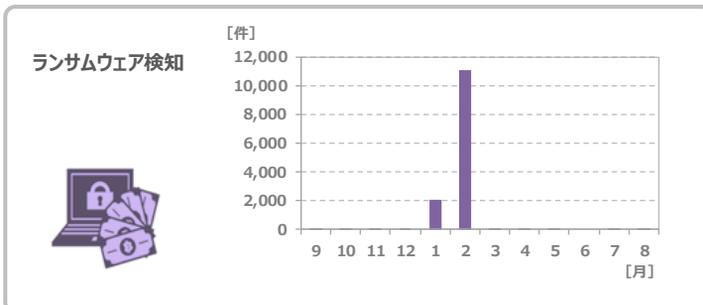


直近12カ月平均：55,009件

2023年8月：3,431件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。Emotetなどの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

ランサムウェア検知



直近12カ月平均：1,107件

2023年8月：16件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。ランサムウェアには、引き続き十分に注意してください。